

## 2014 年度事業報告書

### 特定非営利活動法人兵庫障害者センター

#### 1 事業の成果

障害を持つ人とその家族は、身近なところで相談のできる場所を探しています。特に福祉度や年金については多くの情報を必要としています。兵庫障害者センターでは、毎月定例の相談活動を無料行っていますので、障害をもつ多くの人たちの支えとなっています。弁護士、社会保険労務士など専門の相談員が相談をお受けしています。電話による相談も増えています。また、平日も必要に応じて相談を受けているので、心のよりどころとしている患者さんもいます。さらに充実した相談が受けられるようになっています。

“障害者権利条約”が日本で批准されて 2 年になります。私たちは障害者の権利を守るために、2014 年度は権利条約を柱としてどう生かすかについて分野ごとに学びました。

「災害と障害者のつどい」を連続して開催し、要援護者に対する支援体制について自治体アンケートを実施。また、障害者をもつ人たちが「災害時にどう備えているか」のアンケートを実施しました。連続して実施している結果を見ると、自治体の備えに対する考え方も向上してきたと感じています。

障害者団体の活動を支援する場所としての事務所・会議室の活用も成果があり、団体間の情報交換の場として役立っています。さまざまな障害者とその家族のための支援活動は着実に成果を上げているものと実感しています。

#### 2、特定非営利活動に関する事業

##### (1) 医療・福祉・教育・生活など暮らしに関する相談助言と支援事業

日時	相談者	相談内容	対応者
2014/04/12	障害者と家族 2 名	くらしと法律、年金	社労士、弁護士
2014/05/10..	障害者と家族 2 名	障害年金	社労士、実務者
2014/06/14	障害者と家族 3 名	くらしと法律。障害年金	社労士、弁護士
2014/07/12	障害者と家族 4 名	生活保護、しごと	弁護士、社労士他
2014/08/09	障害者と家族 2 名	年金、事故の保障	弁護士、実務者他
2014/09/13	障害者と家族 3 名	年金受給	社労士、弁護士他
2014/10/11	障害者と家族 1 名	くらしと法律	弁護士、社労士他
2014/11/08	障害者と家族 2 名	年金、就労問題など	弁護士、社労士他
2014/12/13	障害者と家族 2 名	障害年金	弁護士、社労士他
2015/01/10	障害者と家族 1 名	年金、就労	弁護士、社労士他
2015/02/14	障害者と家族 4 名	年金	弁護士、社労士他
2015/03/14..	障害者と家族 4 名	家賃の問題、年金のことなど	弁護士、社労士他
電話相談随時	障害者と家族 多数	施設入所、年金受給、生活保護 日常生活の支援	社労士、実務者他

(2) 医療・福祉・教育・生活など暮らしに関する調査・研究と情報提供、及び各種つどい開催事業

A) 障害者権利条約を日本でも批准し発効した。障害者権利条約を柱として分野ごとに学ぶ。

① 学習会第1回 2014年8月3日(日) こうべまちづくり会館2階ホール

「障害者権利条約とはたらくこと」

講師 きょうされん常務理事 赤松 英知氏

参加者 40名

講師の赤松英知氏(きょうされん常務理事)は、パワーポイントを使いながら次のような項目について講演されました。

- ① 障害者権利条約の成立過程、特徴、他
- ② 障害のある人の「はたらく」を支える仕組み
- ③ 権利条約批准に向けた制度改革の中で
- ④ 権利条約第27条の実現への道筋として、制度面と実践面の課題



講演の後、藤原精吾氏(理事長)は、弁護士会の権利条約関係の韓国視察について報告をされました。

② 学習会第2回 2014年11月8日(土) こうべまちづくり会館2階ホール

「障害者権利条約と学ぶこと」

講師 神戸大学大学院 渡辺 昭男氏

参加型 28名

講座は、渡部昭男氏(神戸大学大学院教授・鳥取大学名誉教授)が、「情熱を持った人間が歴史をつくる～糸賀一雄と国連障害者権利条約&教育条項～」と題して講演されました。

原田文孝さん(兵庫障教組)が「兵庫の障害児教育の現状と課題」について報告されました。



参加者からは、「なぜ支援学校に入学を希望する子どもが増え続けるのか」、「心臓疾患を持つ子が保育園等を希望したら拒否されることが多い。これは差別ではないか」「知的障害のある人の高等教育保障はどう考えたらいいか」など、活発な質疑が行われました。

③ 学習会第3回 2014年12月6日(日) のじぎく会館

「障害者権利条約とくらし」

講師 弁護士 福島 健太氏

参加者 30名

講師の福島健太弁護士(自立支援法違憲訴訟兵庫訴訟弁護団長)は、「障害者権利条約について～条約によって何が変わるのか～」と題して講演をされました。

福島氏は「権利条約は、14年2月に国内で効力を生じ、今後条約の内容に反する法律などは許されなくなった」「内容を具体化する法律の制定、改正に向けて、障害者の権利が守られるような取り組みが一層強化されるよう期待する」と述べられました。



続いて、きょうされん兵庫支部事務局長松本多仁子さんから、「きょうされんの2つの調査(障害のある人の地域生活実態調査・介護保険優先原則による利用者への影響調査)から見えてきたもの」と題した

報告がありました。松本さんは報告の最後に「ますます厳しい中で、あきらめない・こびない・ぶれない運動」「他分野との連携」の大切さを強調されました。

B) 阪神・淡路大震災から20年。被災地として障害者に対する避難の体制がどう整備されたか、どんな課題があるか整理し、今後どのような体制づくりが必要なのかを考えるために「災害と障害のつどい」を開催しました。

① 障害(難病)を持つ人を対象とした「災害と防災に関する障害者の意識調査」、および兵庫県か41市町を対象とした「兵庫県か市町の障害者と防災に関する自治体アンケート」を実施した。

② 神戸大学大学院大西研究室に前述①のまとめと分析を依頼した。

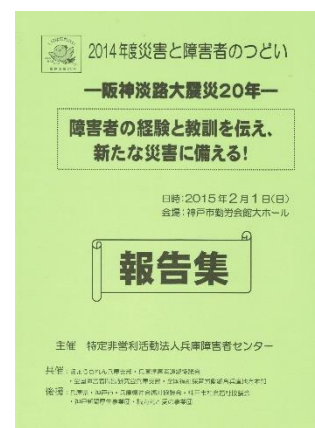
③ 「災害と障害者のつどい」を開催した。

日程 2015年2月1日(日) 13:00~16:30

会場 神戸市勤労会館大ホール

参加者 220名

④ 講演内容は次のとおり



### 【実践報告】

つどいでは、JDFいわて支援センターの栗田誠さんが、「ノーマライゼーションという言葉のいらないまちづくり」と題して報告した。東日本大震災で壊滅的な被害を受けた岩手県陸前高田市の「障害者福祉計画」（平成25年3月策定）の実現に向けての活動の経過を話した。ノーマライゼーションという言葉のいらない社会とはどんな社会か、どうすれば共生社会を構築できるかという観点で設置された障害当事者を中心としたワーキンググループでの具体的な活動について、優しい語り口で報告した。



### 【経験報告】

「障害者の経験を今、そして明日につなぐ」では、視覚障害の車谷美恵子さんと聴覚障害の嘉田真典さんが、震災直後や避難生活の様子をリアルに話された。嘉田さんは、忘れてはいけない大震災の教訓として「震災で聴覚障害者が困難な状況に置かれたが、これは震災で困難になったのではなく、日常的な困難さが震災で浮き彫りにされたこと。普段の暮らしの中での障害者福祉の充実、障害を受容できる街づくりが大切である」と結んだ。

### 【基調講演】

室崎益輝氏が「災害時、障害者に立ちはだかる社会的障壁」とテーマとした、基調講演を行った。障害者は、環境面や個人特性面でハンディを負っており、住宅等が脆弱、社会的に孤立、行動能力や認知能力が弱い、災害時には心理的にも不安が増幅される傾向があること。日常時から、障害者を見守る態勢をつくり、ハード&ソフトのバリアをなくす取り組みをし、安心できる住まい&施設を供給し、支え合いのコミュニティをつくるのが、災害時の障害者の安全や安心につながるなど、災害時要援護者を支援する体制づくりがすべての人が安心して生活できる社会となると話した。



### 【調査報告】

最後に、大西一嘉さん（神戸大学工学部准教授）が、「障害者・家族の防災等に関する意識調査（集計294部）」と「障害者と防災に関する県下自治体調査」について、報告されました。この二つの調査は、兵庫障害者センターが昨年10月に行ったもの。今後この調査結果をより詳しく分析し、



障害者に対する防災や災害時における支援策づくりに活用し、役立てたい。

### C) 情報提供

- ① ホームページを管理運営し、学習会や集いの予告などを掲載しました。
- ② 各種事業の計画等の開催に際してニュースを発行し、開催の様子を伝えました。
- ③ 多くの方に“兵庫障害者センター”の存在を知ってもらい、相談活動を実施していることを知らせるポスターとチラシを作成しました。(平成 26 年度 NHK 歳末たすけあい義援金の配分を受領。)



### (3) 障害者団体の援助・支援事業

団体の活動への相互参加や情報交換ができること、また団体の活動拠点として役立っています。また、資機材の利用は円滑であり、共同事務所として順調に運営しています。

## 3 事業実施体制

### (1) 会議に関する事項

#### ① 通常総会

開催日 2014年5月10日(土) 14:00~15:00  
開催場所 神戸市勤労会館会議室 307号  
出席者 団体 7団体 個人 13名(表決委任者 3名)  
議事内容 2014年度(第6期) 事業報告、決算報告の承認  
2015年度(第7期) 事業計画、活動予算の承認

#### ② 理事会

第1回理事会	2014年4月18日(金) 19:00~20:30	7名出席(委任状3名)
	事務所	
	2013年度の活動報告と決算の承認および2014年度の活動計画について	
第2回理事会	2014年5月11日(日) 19:00~19:40	10名出席(委任状1名)
	事務所	
	役員、事務局体制について、2013年度活動計画についての内容の検討	
講座打合せ会	2014年7月9日(金) 19:00~21:00	5名出席
	事務所	
	8月開催の学習会について 打合せと役割分担	
第3回理事会	2014年7月18日(金) 19:00~20:15	7名出席(委任状3名)
	事務所	
	講演会内容と9日の打合せ報告、学習会内容確認	
第4回理事会	2014年9月26日(金) 19:00~20:00	7名出席(委任状1名)
	事務所	
	連続学習会について、ひょうご安全の日事業の内容、アンケートについて	

- 第5回理事会 2014年11月21日(金) 19:00~20:15 7名出席(委任状1名)  
事務所  
ひょうご安全の日講演会の打ち合わせ、アンケート実施のこと
- 理事打合せ会 2014年12月12日(金) 19:00~20:20 7名出席  
事務所  
安全の日事業について取り組み、打ち合わせ、アンケート集計について
- 事務局会議 2015年1月20日(金) 19:00~20:20 6名  
事務所  
ひょうご安全の日事業開催最終打合せ、レジメ・資料当配布物の内容について
- 事務局会議 2015年3月20日(金) 19:00~20:30 5名  
事務所  
2014年度の事業報告、会計報告について、総会準備

## (2) 事務局体制

①事務局長；井上 義治

事務局スタッフ；会計 木村 宏美 庶務 中尾 暁子

②ミーティング

毎週月曜日 10時から1時間程度 1週間の予定等打合せ

## (3) 会員

① 正会員 団体 8団体 個人 17名

② 賛助会員 個人 23名

以上